

いざというときに!

■本署は救急車 3 台体制

一番手前が新たに導入した高規格救急車。本署は、従来の救急車 1 台と、高規格救急車 2 台の計 3 台体制で救急業務にあたる

新高規格救急車を本署に配備

救急車 5 台体制に

6 月 1 日、新たに高規格救急車 1 台を消防署本署に配備し、救急搬送体制を強化。本署が 3 台体制になり、昭和・西の各出張所の 1 台ずつを含め 5 台体制で市内の救急業務にあたります。

特集

救急と防災

高規格救急車の導入と防災公園として整備された常盤公園についてお知らせします。



患者監視モニターと自動人工呼吸器

写真中央上に見えるモニターが、傷病者の心電図波形や血圧、呼吸状態などを表示する患者監視モニター。その下のオレンジの機器が自動人工呼吸器で、心肺停止などの重篤な患者さんに自動的に酸素を送る



階段用ストレッチャー

マンションやアパートなどの階段で、患者さんを安全・迅速に運ぶことができる資器材

高規格救急車に導入した新しい装備



認定救急救命士 土家 良仁さん(消防署)

新しい高規格救急車には、最新の救急資器材を搭載できました。これを生かして、一人でも多くの人の命を救いたいと思います。

正しい利用を

総社市では、救急の出動件数が増加の一途をたどっています。市民の皆さんには、「救急車の正しい利用」をお願いします。

高規格救急車導入の経費は約 319 2 万円。総社新医療体系の 4 本柱の一つの「救急搬送体制の充実・強化」にもつながるものです。

問い合わせ 消防本部警防課 (☎02 8 3 4 4)

搬送体制を強化

救急搬送体制の強化のため 6 月 1 日から、5 台体制で運用を始めました。

導入した高規格救急車は、救急需要の増加と大規模災害などへの対応を行うために配備。救急隊員が迅速・的確に傷病者の観察、救命処置ができるよう、最新の患者監視モニターや自動人工呼吸器、階段用ストレッチャーなどを装備しました。また、傷病者に配慮し、乗り心地や静音性、加速操縦性も高めました。

救急救命士も養成中!

救命率の向上のため、救急救命士の養成も進めています。救急救命士は現在 22 人。このうち気管挿管ができる認定救急救命士は 6 人、薬剤投与ができる認定救急救命士は 20 人です。